

「ローレルスクエアOSAKA LINK（大阪市東淀川区）」について

「ローレルスクエアOSAKA LINK」は、梅田・新大阪に隣接する「淡路」エリアに立地する、子育てファミリーが多く住まう総戸数393戸の集合住宅です。

■建物をセットバックして緑地空間を作ること開放感を、歩道を作ること安全性を確保

地域に対しての配慮として、自主的に7.5mセットバックした位置に建物の配置を行い、開放感をつくりだしました。セットバック部分には民地内遊歩道やオープンスペースなどを作ることにより、地域の人々も安心して通行できるようにしました。また、ラウンジやキッズコーナー、スタディールーム等をつなげたシェアスペースをつくり、多世代が自然と集い交流し、子供が孤立せず放課後を安心して過ごせるようにしました。



【遊歩道】



【ファミリーコーナー&キッズコーナー】

■審査員による評価コメント

大阪市内で以前は製薬会社の工場・事務所・研究所として使用されていた敷地。道幅4～5mの狭い道路が多く、歩道がなく敷地境界まで建物や塀を立てている中高層の建物が多く建ち並ぶ住宅地である。そうしたロケーションに高層集合住宅として13,788㎡と広大な敷地面積を活かし、前建物線から7.5mセットバックした位置に建物を配置し、公開空地として地域住民の歩道やオープンスペースを創出した優れた設計である。居住者はおもに子育て層世帯のため、1階の緑豊かな歩道に隣接するように、0～2歳期対象の小規模保育事業所を大阪市の事前協議制度を利用し設置した。放課後の子供の居場所としてカフェや図書館のように本を読む、勉強できるシェアスペースづくりは子育て世帯をサポートする空間として素晴らしい計画である。今後の展開が大いに期待されることである。